



# 秋元不死男に関する資料一覧

〒335-0021 戸田市大字新曽1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

戸田市美女木にある妙嚴寺みょうごんには、俳人・秋元不死男の「水澄みて亡き諸人の小声かな」という句碑が建っています。彼自身は横浜の出身ですが、秋元家の菩提寺である妙嚴寺には、法要の度訪れていました。

今回は、戸田市立図書館で所蔵している資料の中から、秋元不死男について調べることができるものを紹介します。

## 目次

1 <a href="#">百科事典、人名事(辞)典</a>	4 <a href="#">人物論、作品論</a>
2 <a href="#">文学事(辞)典</a>	5 <a href="#">戸田市関係資料</a>
3 <a href="#">詩歌、俳句事(辞)典</a>	6 <a href="#">著作</a>

## 1 百科事典、人名事(辞)典

●ここでは、人物について調べるとき、基本的な情報を得ることができる百科事典及び人名事(辞)典を紹介します。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『日本大百科全書』 1	小学館	1984	R031	本館2階・参考資料室
	p.187「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『現代日本執筆者大事典』第1巻	日外アソシエーツ	1978	R281.0	本館・書庫
	p.32「秋元不死男」 作品の掲載雑誌及び図書、人物研究及び年譜を掲載している出版物の一覧等を紹介しています。			
『日本人名大事典』 補巻(現代)	平凡社	1979	R281.0	本館2階・参考資料室
	p.9「あきもとふじお 秋元不死男」 略歴が載っています。			
『現代人名情報事典』	平凡社	1987	R280.3	本館・書庫
	p.15「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『<現代日本>朝日人物事典』	朝日新聞社	1990	R281.0	本館2階・参考資料室
	p.36「秋元不死男」 略歴が載っています。			

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『新潮日本人名辞典』	新潮社	1991	R281.0	本館2階・参考資料室
	p.23「あきもとふじお 秋元不死男」 略歴が載っています。			
『講談社日本人名大辞典』	講談社	2001	R281.0	本館2階・参考資料室
	p.27「あきもとふじお 秋元不死男」 略歴が載っています。			
『コンサイス日本人名事典』	三省堂	2009	R281.0	本館2階・参考資料室
	p.18「あきもとふじお 秋元不死男」 略歴が載っています。			
『人物レファレンス事典』 文芸篇	日外アソシエーツ	2010	R281.0	本館2階・参考資料室
	p.14「秋元不死男」 略歴が載っています。秋元不死男について記述されている事典類を紹介しています。			
『昭和人物事典』 戦前編	日外アソシエーツ	2017	R281.0	本館2階・参考資料室
	p.15「秋元不死男」 略歴が載っています。			

## 2 文学事(辞)典

●ここでは、俳人である秋元不死男について調べるとき、基本的な情報を得ることができる文学事(辞)典を紹介します。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『現代日本文学大事典』	明治書院	1966	R910.2	本館2階・参考資料室
	p.11「秋元不死男」 やや詳しい経歴が載っています。			
『日本近代文学大事典』 第1巻	講談社	1977	R910.2	本館2階・参考資料室
	p.21「秋元不死男」 写真付きの詳しい経歴が載っています。			
『日本文学史辞典』 近現代編	角川書店	1987	R910.2	本館2階・参考資料室
	p.560「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『新潮日本文学辞典』	新潮社	1988	R910.3	本館2階・参考資料室
	p.13「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『日本現代文学大事典』 人名・事項篇	明治書院	1994	R910.2	本館2階・参考資料室
	p.6-7「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『全国文学碑総覧』	日外アソシエーツ	2006	R910.3	本館2階・参考資料室
	p.260「戸田市」 戸田市にある文学碑の一覧に妙巖寺の句碑があります。			

### 3 詩歌、俳句事(辞)典

●俳人である秋元不死男について調べるとき、略歴以外にも作品について知ることができる詩歌及び俳句に関する事(辞)典を紹介します。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『詩歌人名事典』	日外アソシエーツ	2002	R911.0	本館2階・参考資料室
	p.15「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『詩歌作者事典』	鼎書房	2011	R911.0	本館2階・参考資料室
	p.26-27「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『戦後詩歌俳句人名事典』	日外アソシエーツ	2015	R911.0	本館2階・参考資料室
	p.10「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『俳句鑑賞辞典』	東京堂出版	1973	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.260-263「不死男(秋元)」 略歴が載っています。作品5句に解説が添えられています。			
『現代俳句鑑賞辞典』	東京堂出版	1976	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.389-391「不死男(秋元)ふじお」 略歴が載っています。作品5句に解説が添えられています。			
『近代俳句大観』	明治書院	1977	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	p.420-423「秋元不死男」、p.604「秋元不死男」 作品17句に解説が添えられています。巻末には略歴が載っています。			
『俳句辞典』 近代	桜楓社	1977	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.11-12「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『俳諧大辞典』	明治書院	1978	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.676「不死男」 略歴が載っています。			
『現代俳句大辞典』	明治書院	1980	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.8-10「秋元不死男」 詳しい経歴が載っています。句集及び代表句の紹介もあります。			
『俳句辞典』 鑑賞	桜楓社	1981	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.393-394「秋元不死男」 略歴が載っています。作品4句に解説が添えられています。			
『現代俳句辞典』	富士見書房	1988	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.7「秋元不死男」 略歴が載っています。			
『現代俳句ハンドブック』	雄山閣出版	1995	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.8「秋元不死男」 略歴が載っています。作品の解説及び人物論を掲載しています。			

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『新編俳句の解釈と鑑賞事典』	笠間書院	2000	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.469-470「秋元不死男」 略歴が載っています。作品2句に鑑賞が添えられています。			
『俳文学大辞典』	角川学芸出版	2008	R911.3	本館2階・参考資料室
	p.9「秋元不死男」 略歴が載っています。直筆の短冊の写真も紹介されています。			

## 4 人物論、作品論

●秋元不死男に関する人物論、又は作品論を知りたい場合は、分類 911.3[俳句]及び分類 911.36 [近代の俳句]の資料を探すとよいでしょう。ここでは当館で所蔵している図書の一部を紹介します。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『わが愛する俳人』 第4集	有斐閣	1979	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	p.153-183 <sup>やまはたろくろう</sup> 山畑禄郎「秋元不死男」 略歴、人物論、作品論等が載っています。			
『昭和俳壇史』	明治書院	1979	911.36	本館1階・開架閲覧室
	p.263-265 <sup>ふるやひし</sup> 「古家権子・ <sup>あすまきょうぞう</sup> 東京三」他 東京三は秋元不死男の別名です。新興俳句の登場の説明で秋元不死男について書かれています。他にも戦時中の俳句弾圧に関するページに度々登場します。			
『鑑賞現代俳句全集』 第9巻	立風書房	1980	911.36	本館・書庫
	p.134-193 <sup>たかはしゆぎょう</sup> 鷹羽狩行「秋元不死男」 略歴、人物論、作品論等が載っています。			
『近代俳人』	桜楓社	1980	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	p.252-262 鷹羽狩行「秋元不死男」 略歴、作品10句及び作品の鑑賞が載っています。			
『現代俳句大系』 第12巻	角川書店	1982	911.36	本館1階・開架閲覧室
	p.455-493「万座 秋元不死男」、p.578-580「『万座』秋元不死男」 句集「万座」を掲載し、巻末に解説を添えています。			
『俳人・秋元不死男』	永田書房	1983	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	著者は、秋元不死男に師事した俳人庄中健吉で、同書は、句集ごとの作品論を通して秋元不死男の人となりを紹介した作品です。 以下のページに戸田市に関する情報が記載されています。 p.9-10「序章 出発点と到達点」内 「水澄みて」の句碑について紹介しています。			
『昭和俳壇史』	角川書店	1985	911.36	本館1階・開架閲覧室
	p.99-104「22 左傾する地平線」 秋元不死男が俳句を作るきっかけとなった出来事を紹介しています。 p.267-268「67 第四次の東京検挙」、p.268-272「68 胸を降る雪」 秋元不死男が戦時中、警察に逮捕されたときの様子を紹介しています。 p.280-284「71 囹圄の人たちとその日々」 警察での取り調べ及び留置場での様子を紹介しています。			

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『現代俳句』 下	角川書店	1990	911.36	本館1階・開架閲覧室
	p.140-145「秋元不死男」 秋元不死男の俳句7句に文芸評論家山本健吉が解説を加えています。			
『山本健吉俳句読本』 第3巻	角川書店	1993	911.36	本館1階・開架閲覧室
	p.214-223「不死男追悼」 雑誌『俳句』昭和52年10月号「秋元不死男追悼号」に掲載された「漂泊と思郷」を収録。秋元不死男の俳句論について述べています。			
『集成・昭和の俳句』	小学館	1995	911.36	本館1階・開架閲覧室
	p.168-174「秋元不死男」 4句集から秀句を紹介したものです。略歴も載っています。			
『俳句の海で』	ワイズ出版	1995	911.36	本館1階・とだしの本棚
	p.138-139「四月号<特集 秋元不死男>」 俳人高柳重信が編集者を務めた雑誌『俳句研究』の編集後記を集めたもので、秋元不死男の作品論について述べています。			
『現代の俳人101』	新書館	2004	911.36	本館1階・開架閲覧室
	p.38-39 森田緑郎「秋元不死男」 略歴が載っています。代表句3句の紹介及び解説が載っています。			
たかはしゆぎょう 『鷹羽狩行の名句案内』	日本出版放送協会	2007	911.30	本館1階・開架閲覧室
	p.20「二月」、p.47「三月」、p.50「三月」、p.81「五月」、p.127「九月」、p.173「十二月」 上記ページに秋元不死男の俳句が紹介されています。作品にはそれぞれ簡単な解説が付いています。			
『昭和俳句の検証』	笠間書院	2015	911.36	本館1階・開架閲覧室
	p.343-351「資料2 秋元不死男の獄中手記「左翼俳句運動概観」、p.351-354「秋元不死男に対する検事局の公訴事実」、p.364-365「解説」他 上記ページに秋元不死男が獄中で書いた手記の一部が紹介されています。この他のページにも戦中戦後の秋元不死男の句が登場しています。			





## 5 戸田市関係資料

●戸田市にゆかりのある人物について調べるときは、戸田市関係の資料も確認しましょう。ここでは、秋元不死男について触れている戸田市関係資料を紹介します。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田むかし史ある記』 <small>ふみ</small>	戸田市教育委員会	1983	T213.4	本館2階・戸田市関連資料
	p.71-72「妙巖寺の十六羅漢と烏八日」 妙巖寺の境内に秋元不死男の句碑が建っていることが紹介されています。			
『戸田の歴史と文化』	戸田市秘書課・市史編さん室	1978	T213.4	本館2階・戸田市関連資料
	p.25「郷土の生んだ文化」内「俳人秋元不死男」 秋元家の菩提寺である妙巖寺に句碑が建っていることが紹介されています。			
『戸田の文学探訪』 近世近代編	戸田市	1992	910.2	本館1階・とだしの本棚他
	p.64-65「秋元不死男（俳人）」 妙巖寺の句碑に刻まれた「水澄みて」の句とともに、句碑を見て詠んだ「句碑建ちて永き日空にひらきけり」の句も紹介しています。解説では、秋元不死男の祖父が美谷本村の村長であること等が紹介されています。			
『妙巖寺抄』	さきたま出版会	2015	T188.8	本館2階・戸田市関連資料
	p.81「村の歴史と村長」 美谷本村の初代村長が妙巖寺の檀家であること、その子孫に秋元不死男がいること等が紹介されています。			
『研究紀要』第4号	戸田市立郷土博物館	1989	T069.6	本館2階・戸田市関連資料
	p.71-73「妙巖寺」内「句碑」（金子弘「戸田の石造物」内） 妙巖寺にある「水澄みて」の句碑に刻まれた文面を紹介しています。裏側には「昭和五十年四月六日 秋元不二雄建之」と書かれていることが分かります。「不二雄」は、秋元不死男の本名です。			
『戸田市の石造物』	戸田市	1980	T213.4	本館2階・戸田市関連資料
	p.116-117「歌碑」内 妙巖寺にある句碑についての調査報告があります。			
『とだしば』	戸田俳句連盟	1972	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	序文 高柳重信「一昔二昔」 戸田俳句連盟の合同詩集「とだしば」創刊に寄せた俳人高柳重信の序文に、戸田開催の俳句大会に、以前、秋元不死男が講師として参加したことが書かれています。			
『とだしば』9号 創刊号～10号合本内	戸田俳句連盟	1975	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	p.3 高松沔浪「秋元不死男先生の句碑」 妙巖寺に句碑を建立し、その除幕式が行われたという報告記事です。			
『とだしば』11号 11号～20号合本内	戸田俳句連盟	1976	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	p.19-20 内田孝三「戸田俳句研究会結成当時の伊東さんをしのぶ」内 戸田町の俳句大会に秋元不死男を講師として招へいたことが書かれています。			
『高柳重信展』 第17回特別展	戸田市立郷土博物館	2001	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	p.53 内田孝三「戸田俳句会草創期の高柳重信」内 戸田町の俳句大会に秋元不死男を講師として招へいたことが書かれています。			

## 6 著作

●秋元不死男の作品は、雑誌への寄稿も含めると数多くあります。[国立国会図書館サーチ](http://iss.ndl.go.jp/)\*等を活用すれば、句集及び掲載雑誌を確認することができますが、ここでは、秋元不死男の作品の内、戸田市立図書館で所蔵している図書を紹介します。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『秋元不死男句集』 自選自解	白鳳社	1972	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	<p>戸田市に関する記述はありません。</p> <p>自身の作品の中から選んだ句に自ら解説を加えて刊行した俳句集です。句を詠んだ背景、それにまつわる思い出等も掲載されています。</p>			
『秋元不死男俳文集』	角川書店	1980	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	<p>戸田市に関するページ p.37-38「自伝饒舌」内、p.305「年譜」内</p> <p>妙巖寺にある母方の祖父母の墓碑文が紹介されています。巻末の年譜には、昭和50年4月に「埼玉県戸田市美女木妙巖寺に&lt;水澄みて亡き諸人の小声かな&gt;の句碑建つ」と記載されています。</p>			
『秋元不死男全句集』	角川書店	1980	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	<p>戸田市に関するページ p.329</p> <p>「句碑建ちて」の句に「菩提寺妙巖寺（戸田市美女木）に句碑建つ」の一文が添えられています。</p>			
『俳句入門』	角川書店	1981	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	<p>戸田市に関する記述はありません。</p> <p>初版は昭和46年（1971）、秋元不死男著の俳句入門書です。彼自身の句も4句収録され、解説が添えられています。</p>			
『秋元不死男集』	俳人協会	1984	T911.3	本館2階・郷土特集棚
	<p>戸田市に関するページ p.119、p.132-133</p> <p>秋元不死男の死後、発行された句集です。妻の阿喜さんが脚注を加えています。「水澄みて」の句には、「埼玉県の菩提寺の庭に、この句碑があります。」の注が、「句碑建ちて」の句には、「私どもでは法要は戸田市美女木の菩提寺で行います。」の注が添えられています。</p>			

※「国立国会図書館サーチ」（アドレス <http://iss.ndl.go.jp/>）は、国立国会図書館が提供している検索サービスです。国立国会図書館が所蔵する資料、都道府県立図書館、政令指定都市の市立図書館の蔵書、国立国会図書館や他の機関が収録している各種のデジタル情報等を探することができます。

### 秋元不死男の著作物を検索する方法

検索窓にキーワード「秋元不死男」、又は戦前のペンネームである「東京三<sup>ひがしきょうぞう</sup>」と入力すれば、彼自身の著作物は勿論、彼について書かれた雑誌論文記事等の検索が可能です。

### 秋元不死男の著作物を閲覧する方法

国立国会図書館所蔵の資料については、一定の条件を満たしていれば戸田市立図書館本館で閲覧することが可能です（要申込み、貸出券が必要です。）。詳細は図書館までお問合せください。また、「国立国会図書館／図書館送信参加館内公開」資料は、戸田市立図書館本館2階カウンターで閲覧することができます（要申込み、貸出券が必要です。）。